

身近に潜む火災危険から命を守ろう！

多摩防火協会からのお願い！ 今すぐチェック  

電気火災の主な発火源

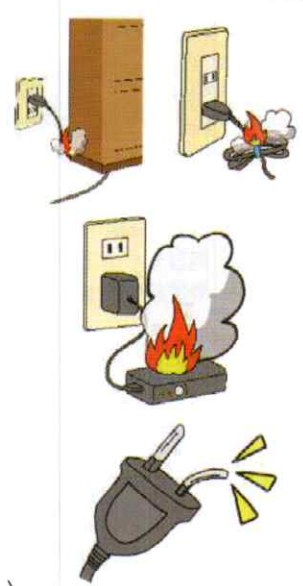
(川崎市内における過去10年間)

- 1位 電気コード (87件)
- 2位 電池 (83件)
- 3位 プラグ (80件)

電気コード、電池、プラグが発火源となった火災だけで、過去10年間に川崎市内で2億円以上の損害が計上されています。

電気火災を防ぐポイント

- 電気コードは、束ねたり重いものの下敷きになっている状態で使用しない。
- 電気コードが傷んでいるときは使用を控える。
- リチウムイオンバッテリーは、落下などにより衝撃を与えたり、ポケットに入れたまま座るなどの折り曲がるような力を加えない。
- 電池を使用する製品は、取扱説明書どおりに使用し、安価だからといって非純正品のバッテリーを使用しない。
- 膨らみなどの異常があるときは使用をやめる。
- プラグは、定期的に抜いて付着したほこりなどを掃除する。
- プラグは、しっかりと差し込んだ状態で使用する。
- プラグに変形があるときは使用を控える。



市HPも御覧ください

死者のうち約33%がたばこ火災で！

過去10年の火災による死者数
(平成26年～令和5年)



たばこ火災を防ぐポイント

たばこ火災は、ポイ捨て、寝たばこ、山盛りの灰皿に捨てて、消火が不十分なままゴミ箱に捨てたなど、喫煙者のマナー違反に起因して発生することが多く、ほとんどの火災は日頃の心掛けで防ぐことができます。



- 専用の灰皿を使用
- 灰皿に水を張り、確実に消火
- 灰皿に吸がらをためない
- 寝たばこは絶対しない！
- ポイ捨ては厳禁！
- 屋外での喫煙は喫煙所で

何が燃えて火災に？

- 1位 ごみ類
- 2位 ふとん、座ふとん、寝具
- 3位 紙屑、わら屑

やっと思いがちなこととは？



揚げ物をしていて突然の来客
に対応して火を消し忘れ、鍋
の油に火がついた。(男性60歳代)



調理中にうたたねをしていて
鍋をこがし、家族が気づいて
火を消した。(女性80歳代)



コンロを使用中、コンロに背を
向けていたら衣服に着火し、
やけどを負った。(男性50歳代)



奥のコンロの、鍋の料理の味
見をしようとして袖に火がつ
いた。(女性70歳代)



コンロのそばに布巾を置き、
焦げ臭いにおいで気づいて、
火を消した。(女性50歳代)



コンロの近くをキッチンペー
パーで掃除して火がついたが、水
をかけて消火した。(男性40歳代)

事故防止の ポイント

調理中はその 場を離れない



コンロの使用中は絶対にその場を離れないこと。
離れる時は必ず火を消してください。



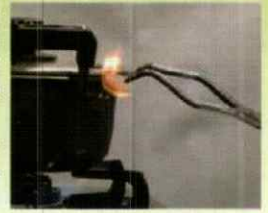
過熱した天ぷら油に火がついた実験映像より

事故防止の ポイント

見えない炎に 注意



強火でガスを使用している時は、鍋の上部でも
繊維などに火がつくことがあります。炎が見えな
くとも注意しまし
ょう。防火加工さ
れたアームカバ
ーやエプロン等
を使用すれば、
燃え広がるのを
防ぐことができ
ます。



見えない炎で着火した実験映像より

事故防止の ポイント

コンロの周り は整理整頓



コンロの上や周囲に燃えやすいものを置かないで
ください。ふきん、調理用油、プラスチック製の容
器などをコンロのまわりに置くと、着火して火災が
発生し、重大な事故につながるおそれがあります。



周辺に可燃物が置かれた危険な例

よく放火される場所は？



過去10年間に放火された場所をみると、敷地内、建
物外周部、ごみ集積場など、私たちの生活に身近な場
所で多発していることがわかります。

1位	敷地内	(144件)	1 2 3
2位	建物外周部	(54件)	
//	公園	(54件)	
4位	廊下	(45件)	
5位	河川敷等	(39件)	
6位	道路	(37件)	
7位	車両外周部	(32件)	
//	ごみ集積場	(32件)	4
9位	トイレ	(31件)	
10位	広間・ホール	(17件)	

※建物内の居室を除く。

放火されない・させない環境



狙われる
のは...

- ・人目に付きにくい時間帯
- ・人気のない暗がり
- ・放置された燃えやすいもの

